

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・定員に対し十分なスペースが確保されている。	定められたスペースの中で、子どもたちが伸び伸びと過ごせるよう整理整頓や無駄な物を置かず広々とした空間を提供していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・配置基準を満たしている。	法人全体のバランスを考え、子ども達にとってより良い療育を行う為の人事異動は行なっていき、職員一人一人の質を向上する為に研修を重ねていく。今後も人員配置は適切な人数を配置していく。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関や部屋と部屋に境目があるが、スタッフが声をかける事で注意して行動する事ができている。また現状必要がない為、必要に応じて協議する。	安全な施設づくりを引き続き行なっていく中で、声掛けなど注意すべき所を伝えていく。また安易なバリアフリー化は、子どものスキルを低下させてしまう恐れがあるので必要に応じて協議する。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・朝、昼のミーティングの時間に情報交換を行っていきと共に、保護者からの引継ぎや変更点がある時はすぐに施設長へ伝える事を徹底していく。	自身の業務の目標設定と振り返り、進捗状況を施設全体で把握できるようコミュニケーションを取りながら、支援にも反映できるよう努めていく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価表の結果を踏まえ、全職員で話し合いや確認の場を設け改善に努めている。	今後も保護者様のニーズやご意見を参考に、より良い施設づくりに繋げていく。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・評価表の結果とその対応を、玄関の掲示と、保護者様へ周知のうえホームページでの公表を行なっている。	今後も公表を行っていく。
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・重要事項説明書にも記載してあるが、第三者による外部評価を行っていない。契約時に保護者様へ説明を行なっている。	必要性を感じた際には検討していく。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月職員研修を行い人材育成に努め取り組んでいる。	今後も毎月の法人研修や事業所内研修を通して、スキル向上に向け取り組んでいく。
	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・全スタッフで参画しアセスメントシートを作成し、それを基に個別支援計画を作成している。	今後も日々子どもの様子や変化に注意し検証すると共に、保護者のニーズや子どもの課題を考慮し子どもたち一人ひとりに合わせたものを作成していく。
適切な支援の提供	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・法人として統一された物を使用している。	今後も法人で統一した方法で整備していく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・全員で話し合っ活動内容を立案している。	今後も全員で立案を行なう事で、マンネリ化しないよう新しい内容や、様々なプログラムが提供できるように努めていく。
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・一部活動(体育館での支援や誕生会等)は固定している場合もあるが、子どもたちが様々な活動に参加できるよう配慮し、計画している。	今後も固定化しないよう活動内容を模索していく。
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇の際は、平日に行なう事が難しい活動等も取り入れている。休業日は1日のスケジュールを細かく設定し対応している。	今後も状況に適したプログラムを設定していく。
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの状況などに合わせ、集団活動の中で個別活動を状況や場面に合わせ配慮して行っている。	個別の支援や学習支援は行う予定はないが、今後もお子さま個人の課題に沿った計画をたて、対応していく。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について全員で確認をしている。	朝・昼会の中で、業務内容の確認や注意点を確認している。また職員各自の振り返られた仕事の進捗状況も定期的に確認し、ミスや提出遅れがないようにしている。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・緊急性の高いもの等は、その日のうちに施設長に報告を行い、翌日の朝会にて取り上げ共有している。	今後も、報連相を意識し情報を職員全員が把握したうえで業務に活かしていけるように努めていく。
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ケース記録は毎日作成している。より内容の濃いものを簡潔に作成するスキルを身につけていきたい。	記録の内容が薄くならないよう、個人スキルを向上させ更に精度を上げていく。また効率化と時間への意識、まとめる力を身に付けていく。
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・子ども1人に対し、半年以内でモニタリング会議を開催し、職員全員で意見を出し合い、計画見直しの必要性を判断している。	今後も継続していく。
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・組み合わせで行っている。今後もガイドラインに沿った活動の組み合わせを行っていく。	今後も継続していく。
	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者または管理者が参加している。	今後も情報共有を行い、子どもの支援につなげられるよう努めていく。
	㉑学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎時に様子を引き継ぎ、保護者様の同意を頂けた場合には必要に応じて電話や面談等を通し共通理解ができるよう努めている。学校との面談を連携を強めたいが実現が難しいケースが多い。	今後も保護者様からの依頼や同意のもと行っていきと共に、保護者様と学校との面談に同席させていただく機会を増やしていけるよう模索していく。

関係機関や保護者との連携	②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・医療的ケアが必要な子どもは、現在受け入れていない為該当しない。	看護師がいらない為受け入れは難しいが、必要に応じて協議していく。
	③就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・そのケースが無い。	保護者様からの依頼があった場合は対応していく。
	④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・そのケースが無い。	保護者様からの依頼があった場合は対応していく。
	⑤児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・年に一回美瑛町の児童発達支援センターが行う研修に、日程が合えば参加している。	必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。
	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・スキー級別テスト、外出支援等でも関わる機会をつくっている。また札幌ドーム北の甲子園大会では各地の少年団との交流させていただいた。しかし児童館等との交流は嫌がる利用児もいる為、考えていない。	今後もこのような活動をより多く発信していく。
	⑦(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・施設長が、美瑛町の要請により参加している。	今後も参加していく。
	⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・保護者へは送迎時や連絡ノート、LINEを活用し共通理解を持っている。また必要性があれば電話連絡を行い、その日の子どもの様子を伝えている。	今後も情報交換を行い共通理解に努めていく。
	⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・安易な対応やアドバイスはトラブルに繋がる為、施設長が必要に応じて個別に行っている。状況によりスタッフも行うが施設長の指示の元であり、勝手には行わない。	保護者様に寄り添い、専門性の高い知識を身につけサポートできるようつとめていく。
保護者への説明責任等	⑩運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・ご契約時において、施設パンフレット・相談受付・アセスメントシートに基づきご利用にあたっての説明をさせていただいている。必要に応じて面談時に説明を行う。	今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。またLINEも活用し、より迅速な対応を心掛ける。
	⑪保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者様からご相談を受けた際は、安易に言葉を返さない様、丁寧な対応を心掛けている。	今後も、必要に応じて助言を行なう中で、保護者様に寄り添い、気軽に相談しやすい関係性を築いていく。
	⑫父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・親子行事や運動会を開催する事で、保護者様同士の交流の場をつくっている。	今後も様々なイベントを開催し、保護者様同士の交流の場を提供していきたい。
	⑬子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・法人内に苦情処理委員会を設置している。	苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、迅速に対応していく。今後も契約時に書面配布と口頭で説明を行なっている。
	⑭定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月通信及び号外、ホームページに定期的に活動の様子などをアップし、すきっぷの取り組みについてお伝えしている。	今後もすきっぷでの子どもたちの頑張りや様子を保護者様に伝えていけるよう通信やホームページを活用し伝えていく。
	⑮個人情報に十分注意しているか	○			・「個人情報利用の目的」に基づいて、取り扱いには細心の注意をしている。情報流出やデータの持ち出しがないよう徹底している。	今後も安心してご利用していただく為にも、セキュリティ強化につとめていく。
	⑯障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子様には口頭での意思疎通と視覚提示を取り入れわかりやすく伝えられるよう取り組んでいる。保護者様には、連絡ノートやLINE、場合によっては電話での情報共有を行なっている。	お子様と保護者様との意思疎通や情報を迅速に共有できるよう引き続き取り組んでいくと共に、各ご家庭との関係構築につとめていく。
非常時等の対応	⑰事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○			・地域貢献活動(ゴミ拾い)や作品展は今後も継続していく。個人情報、プライバシーの保護などの点やセキュリティの問題から地域住民を招待する活動は行なっていない。	・昨今の社会情勢を踏まえ、事業所の解放や不特定の住民を招待するということに関して危険なリスクが高い為、今後も行わない予定はないが、作品展や地域貢献活動は年1回程度行なっていく。
	⑱緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・毎年4月の通信発送時に緊急時対応マニュアルを書面に配布している。今後も変更等が出た場合など迅速に対応していく。	今後も変更等が出た場合などは迅速な対応と書面なども配布していく。
	⑲非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年3回(3月地震、6月火災、11月水害)の避難訓練を行っている。また3月に防犯訓練も行っている。	今後も継続して取り組み、緊急時の動きを確認していく。
	⑳虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・法人研修、事業所内研修を行っている。全職員が正しい知識を持ち、支援に入れるよう徹底していく。	研修を重ね、虐待に対する知識と理解を深め適切な対応ができる様、継続し取り組んで行く。
	㉑どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約時や必要に応じて面談時に説明している。また、個別支援計画特記事項にも記載している。法人として年2回「虐待防止・身体拘束廃止委員会」を開催しており、内容を事業所内にも周知している。	研修を重ね、適切な対応ができる様、継続し取り組んで行く。
	㉒食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・フェイスシートにて聞き取りを行うと共に、処方薬管理依頼書及び緊急時補助治療薬等管理依頼書をしようして管理している。その際に医師の指示書等もコピーさせて頂いている。	継続し取り組んで行く。
㉓ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事故・ヒヤリハット報告書をその都度作成し、法人全体で向き合い改善と予防につとめている。	小さなヒヤリハットに気が付く事ができるよう意識して行くと共に、職員が自発的に提出しやすいよう環境を整備していく。今後も法人全体で共有し、繰り返さないよう努めていく。	